

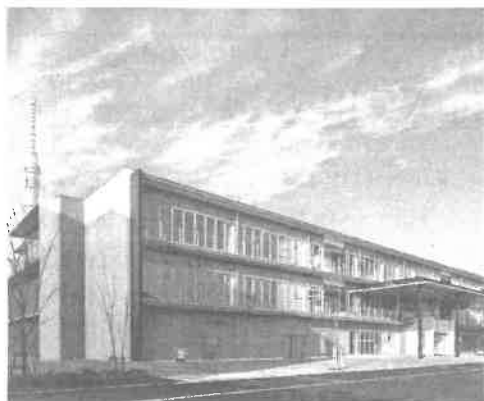
4月開校「iU」

今年4月、東京都墨田区に「iU」と呼ぶ風変わりな大学が開校した。正式には「情報経営イノベーション専門職大学」という日本一長い名前。ICT(情報通信技術)とビジネス(経営)で革新を起すプロを育てる大学、という触れ込みだ。学長は中村伊知哉氏。米マサチューセッツ工科大(MIT)やスタンフォード大、慶大を経て、新大学を起業した。

なにしろ、産業界との距離が近い。教員の8割が企業出身で、NTT、IBM、アッパル、NHK、リクルートなどの名が並ぶ。連携する企業もNTTドコモやソフトバンク、パナソニックなど200社にのぼり、さらに増えていくという。

客員教授の顔ぶれも、吉本興業の大崎洋会長、ミクシィの笠原健治会長、キングコングの西野亮広さんなど多士済々。教授陣は200人を超える。1学年の学生定員が200

在学中、全員起業 プロ育成



学生は全員半年間のインターンシップを経験する

連携200社 教員の8割、企業出身

0人だから、教授の方が多いほどだ。

学生は全員半年間のインターンシップを経験する。全員が入社できる会社「i株式会社」もつくった。教員もスタッフも学生も入社する。学費をみんなで稼ごうということらしい。極め付きは、全員起業。4年の在学中に学生全員が事業を起す。全員が成功すれば就職率はゼロ。「目標は就職率ゼロ」(中村学長)だが「9割は失敗するだろう。iUは失敗を奨励する。失敗大学」とも言う。

東京都港区竹芝にサテライトオフィスを置く。ソフトバンク本社が入居するビルに拠点を設け、内外の大学・研究機関や企業とのコミュニティを作る計画だ。「世界にないパンクな学校にする」(中村学長)。

一期生の中には、社会人や留学生に加え、親子で一緒に入学したり、有名大学をやめてiUに入り直したりする若者もいるという。18歳の新入生女子は、高3の夏、iUの説明会で、「学長自らギターを弾いて説明する姿に大学に対する概念が崩れた」、「常識が覆るような起業を志すことや、自分たちで大学を創りあげていくところに心引かれた」という。

挑戦する大学と挑戦する学生。新型コロナウイルスの感染拡大で先行きが見えにくい時だけに、その将来に期待したい。

(ブームプランニング社長 中村泰子)